

科目名称	テキスタイルデザイン演習 I			授業コード	10045300
担当教員	金沢 香恵				
単位数	6	授業形態	演習	科目分類	選択必修
年次	2	開講年度	2023	開講学期	前期
関連資格	教職				

授業実施方法	対面授業
使用するアプリ等	
履修制限等	F生限定
授業の目的と到達目標 (学習成果)	衣服素材であるテキスタイルの基礎素材の加工方法を修得する。素材を身に纏うアプローチを考察に含め作品の表現方法の可能性を広げる。
授業計画の概要	テキスタイルデザインの基礎演習として、基本素材の動物性繊維、植物性繊維の染色と加工を「フェルティング」「バティック」において実践で学ぶ。素材を身に纏う仕組みの考察を含めた“美しさ”をテーマとして、作品を制作する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション／授業概要 / 課題①説明 (ウール・シルクの染色) 2. フェルティング1 (平面) 3. フェルティング2 (立体) 4. フェルティング3 (布フェルト) 5. 形状記憶 6. 身に纏う形の考察 7. 中間発表／課題②説明 ・バティック技法概要説明 8. スケッチ・デザイン構想・色構想 9. 図案作成・染色下準備 10. 下絵写し 11. 染色 (紋様づくり) 12. 染色 (紋様づくり) 13. 仕上げ 14. プレゼンテーション制作・発表 15. 合同講評会
実務経験のある教員	
授業時間外学習	作品制作のためのアイデアや資料収集。 サンプル制作や作品を充実させるための制作。
評価方法	取組み姿勢 20%、プレゼンテーション・資料 10%、作品 70%
指導方法	15 回目に講評を行う。
使用テキスト	資料を配布する。
参考テキスト・URL	
各自準備物	筆記用具、ハサミ、定規、スケッチブック、ゴム手袋 各自が作品制作に必要な材料、その他授業で案内される用具等
実習費	原毛、糸代 (価格未定) 作品制作に必要な材料費、リサーチに必要な交通費は自己負担とする。
その他	

科目名称	テキスタイルデザイン演習Ⅱ			授業コード	20045162
担当教員	中田 一範				
単位数	6	授業形態	演習	科目分類	選択必修
年次	カリキュラムにより異なります。	開講年度	2023	開講学期	後期
関連資格	教職				

授業実施方法	対面授業
使用するアプリ等	
履修制限等	F生限定
授業の目的と到達目標（学習成果）	テキスタイルのサーフェイスについて考察し、作品として制作できる。シルクスクリーンプリントの、基本であるリピートと色彩について理解し、表現できる。 後半ではテキスタイルデザインの本質を捉え、テーマをもとに表現し、作品制作プロセスを組み立て、制作できることを目標とする。
授業計画の概要	テキスタイルにおけるサーフェイスデザインでは、素材・質感・色の要素を考えることは必須である。シルクスクリーンでは、デザイン要素のパターンへの展開し、生地への捺染を实践する。後半では、テーマから出発しそれまでに学んだ技術を応用しサンプル制作・本制作・プレゼンテーションまでのプロセスを重視しながら制作する。
授業計画	1. オリエンテーション／課題①説明 /リサーチ（資料収集・ドローイング） 2. シルクスクリーン1（パターン展開） 3. シルクスクリーン2（版下・製版・感光） 4. シルクスクリーン3（版下・製版・感光） 5. シルクスクリーン4（捺染） 6. シルクスクリーン5（捺染） 7. シルクスクリーン5（仕上げ） 8. 中間発表／課題②課題説明 /リサーチ・コンセプト設計（資料収集・ドローイング） 9. コンセプトプレゼンテーション・ディスカッション・サンプル制作1 10. サンプル制作2 11. 作品制作1 12. 作品制作2 13. 作品制作3 14. プレゼンテーション制作・発表 15. 合同講評会
実務経験のある教員	
授業時間外学習	作品制作のためのアイデアや資料収集。 サンプル制作や作品を充実させるための制作。
評価方法	取組み姿勢 20%、プレゼンテーション・資料 10%、作品 50%、コンセプト設計 20%
指導方法	14 回目にコース内で発表し、15 回目に学科の発表と講評を行う。
使用テキスト	資料を配布する。
参考テキスト・URL	
各自準備物	筆記用具、ハサミ、定規、スケッチブック、ゴム手袋 各自が作品制作に必要な材料、その他授業で案内される用具等
実習費	系代（価格未定） 作品制作に必要な材料費、リサーチに必要な交通費は自己負担とする。
その他	

科目名称	テキストスタイルデザイン演習Ⅲ			授業コード	10045172
担当教員	中田 一範				
単位数	6	授業形態	演習	科目分類	選択必修
年次	3	開講年度	2023	開講学期	前期
関連資格	教職				

授業実施方法	対面授業
使用するアプリ等	
履修制限等	F生限定
授業の目的と到達目標（学習成果）	現代社会のビジネスやアートシーンでのテキストスタイルデザインの成り立ちを考察し、問題定義から解決案としての企画・発想・制作をテキストスタイルデザインの視点から行う。
授業計画の概要	テキストスタイルデザインの視点から、ビジネスやアートのリサーチを行い、社会背景をふまえた客観的な分析から発想へ展開する。発想を具体的にテキストスタイル技法によって表現し独自のテキストスタイルを制作する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション／ディスカッション 2. リサーチ①（収集） 3. リサーチ②（分析） 4. リサーチ③（素材・技法） 5. 合同中間発表（テキストスタイルデザイン） 6. コンセプト設計、テキストスタイルデザインプラン（企画）、ディスカッション 7. サンプル制作①（技法素材の選定） 8. サンプル制作②（技法決定） 9. コース内中間発表（テキストスタイルサンプル）、制作①（本製作素材準備） 10. 制作②（テキストスタイル加工） 11. 制作③（テキストスタイル加工・構築） 12. 制作④（テキストスタイル構築） 13. 制作⑤（仕上げ・プレゼンテーションボード） 14. コース内プレゼンテーション 15. 合同講評会・展示プレゼンテーション
実務経験のある教員	
授業時間外学習	レポート作成。 作品制作のためのアイデアや資料収集。 サンプル制作や作品を充実させるための制作。
評価方法	取り組み姿勢 10%、プレゼンテーション（展示・発表）20%、作品 50%、コンセプト設計 20%
指導方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合同中間発表（5回）で、プランの講評を行う。 ・ 中間発表（9回）で、テキストスタイルサンプルの講評を行う。 ・ コース内プレゼンテーション（14回）および、合同講評会（15回）で、作品の講評を行う。
使用テキスト	資料を配布する。
参考テキスト・URL	
各自準備物	各自が作品制作に必要な材料、スケッチブック、その他授業で案内される用具等。
実習費	作品制作に必要な材料費、リサーチに必要な交通費は自己負担とする。
その他	

科目名称	テキスタイルデザイン演習Ⅳ			授業コード	20046060
担当教員	中田 一範				
単位数	6	授業形態	演習	科目分類	選択必修
年次	3	開講年度	2023	開講学期	後期
関連資格					

授業実施方法	対面授業
使用するアプリ等	
履修制限等	F 生限定
授業の目的と到達目標（学習成果）	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究へ繋げるためのスキルアップを目的とし、自分のデザイン手法を確立できる。 ・デザインプロセスの整理力を身に付けるため、ポートフォリオを作成し、そこに個性を反映できる。 ・プレゼンテーション力を養うため、テーマや目的、テーマから作品へ至る経緯をまとめ、作品の自己分析ができる。
授業計画の概要	テキスタイルの持つデザイン性や機能は、ファッション・アート・建築など多様な可能性がある。本演習では、テーマ・デザインプラン・テキスタイルサンプル制作（素材・技法選定）・本制作を通じて、各人がテキスタイル技法を独自の表現へ発展させる。卒業研究の準備として、ポートフォリオなどによるプレゼンテーション手法にも重点をおく。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、テーマリサーチ1（資料収集） 2. テーマリサーチ2（資料分析）、コンセプト設計 3. コンセプトプレゼンテーション、デザインプラン1（ドローイング、イメージマップ） 4. デザインプラン2（素材・技法） 5. サンプル制作1（テクニックと表現） 6. サンプル制作2（テクニックと素材） 7. サンプル制作3（テクニック検証） 8. 中間発表（作品プラン・技法決定） 9. 制作1（本制作素材準備） 10. 制作2（テキスタイル加工） 11. 制作3（テキスタイル加工・構築） 12. 制作4（テキスタイル構築） 13. 制作5（テキスタイル構築・仕上げ） 14. 制作及びプレゼンテーション準備 15. 展示／合同講評会
実務経験のある教員	
授業時間外学習	<p>テーマについて考えておくこと。</p> <p>リサーチ（市場調査）、書籍などによる情報・資料収集。</p> <p>サンプル制作や作品を充実させるための制作。</p>
評価方法	取り組み姿勢 10%、プレゼンテーション（展示・発表）20%、作品 50%、コンセプト設計 20%
指導方法	14 回目にコース内で発表し展示計画を検討、15 回目に展示、学科の発表と講評を行う。
使用テキスト	資料を配布する。
参考テキスト・URL	
各自準備物	各自必要とする材料、スケッチブック、その他授業で案内される用具等
実習費	作品制作に必要な材料費、リサーチに必要な交通費は自己負担とする。
その他	

科目名称	ファッションデザイン演習 I			授業コード	10045280
担当教員	笹崎 綾野	権 裕美			
単位数	6	授業形態	演習	科目分類	選択必修
年次	2	開講年度	2023	開講学期	前期
関連資格	教職				

授業実施方法	対面授業
使用するアプリ等	
履修制限等	F生限定
授業の目的と到達目標 (学習成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の感性を説明するため、ビジュアルや文献資料を的確に収集し、内容を読み取ることができる。 ・自分のデザイン手法を見出すため、資料を分析し、デザイン画に表現することができる。 ・デザインに合った制作法を試し、実物を制作できる。
授業計画の概要	ファッションデザインの第一歩は、自分の好きなモノやコトの本質を読み取り、自己表現することから始まる。本演習では、「感性からのデザイン」をテーマとし、自身の感性を衣装で表現するため、リサーチ・デザイン・設計・縫製までのファッションデザイン制作の基本的な工程を踏み、作品を制作する。
授業計画	1: オリエンテーション・リサーチ1 (資料収集) 2: デザインワーク1 (資料分析・ビジュアルイメージ作成) 3: デザインワーク2 (ラフスケッチ・デザイン画・ハンガーイラスト) 4: 中間発表1 (デザイン・テキスタイル検討) 5: パターンメイキング 6: トワールメイキング1 (トワール組み) 7: トワールメイキング2 (トワールチェック) 8: トワールメイキング3 (トワール修正) 9: 中間発表2 (トワール) 10: ソーイング1 (裁断) 11: ソーイング2 (上身頃) 12: ソーイング3 (下身頃) 13: ソーイング4 (装飾・細部縫製) 14: コース内プレゼンテーション 15: 合同講評会
実務経験のある教員	
授業時間外学習	・各々の制作プランに沿って、自主制作を行うこと。
評価方法	1) 構想 40%、設計 25%、作品 25%、発表 10%で評価する。 2) 作品を提出しない場合はE評価となる。
指導方法	<ul style="list-style-type: none"> ・中間発表 (第4回) にて、デザインの講評を行う。 ・中間発表 (第9回) にて、トワールメイキングの講評を行う。 ・コース内プレゼン (第14回) および合同講評会 (第15回) にて、実物作品の講評を行う。
使用テキスト	・オリジナルテキストを配布する。
参考テキスト・URL	
各自準備物	・準備物がある場合は、事前に授業内で告知する。
実習費	・作品制作に必要な材料費や制作にかかる費用、リサーチに必要な交通費や資料収集に関する費用等、自己負担とする。
その他	・ファッションデザインコースの学生は履修すること。

科目名称	ファッションデザイン演習Ⅱ		授業コード	20045132	
担当教員	笹崎 綾野	金沢 香恵、権 裕美			
単位数	6	授業形態	演習	科目分類	選択必修
年次	カリキュラムにより異なります。	開講年度	2023	開講学期	後期
関連資格	教職				

授業実施方法	対面授業
使用するアプリ等	KDU ポータル、teams
履修制限等	F生限定
授業の目的と到達目標（学習成果）	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザー(対象者)の嗜好を把握するため、ヒアリングを行い、イメージに合ったデザインを提案できる。 ・ユーザー(対象者)の体型特性を把握するため、人体計測を実施し、その情報をパターンに反映できる。
授業計画の概要	<p>アパレル産業において消費者に求められる商品を提案するためには、消費者の嗜好、ライフスタイル、体型、生体動作を把握、分析することが求められる。本演習では、「ユーザーに対応したデザイン」をテーマとし、リサーチ・デザイン・設計・縫製の工程で衣服制作を行う。ここでは、ユーザー(対象者)の嗜好や体型に応じたデザイン提案と制作に重点を置く。</p>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1：オリエンテーション、ユーザー（対象者）の選定、リサーチ1（ヒアリング） 2：リサーチ2（資料収集・分析） 3：デザインワーク（デザイン画・ハンガーイラスト） 4：中間発表1（デザイン） 5：パターンメイキング1（人体計測、設計） 6：パターンメイキング2（パターン展開、修正） 7：トワールメイキング1（トワール組み） 8：トワールメイキング2（試着補正、トワール修正） 9：中間発表2（トワール） 10：ソーイング1（裁断） 11：ソーイング2（上身頃） 12：ソーイング3（下身頃） 13：ソーイング4（装飾・細部縫製） 14：コース内プレゼンテーション 15：合同講評会
実務経験のある教員	
授業時間外学習	<ol style="list-style-type: none"> 1) ファッショントレンドやテイストを把握するため、市場調査を行うこと。 2) 各々の制作プランに沿って、自主制作を行うこと。
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1) 構想・提案 40%、設計 20%、作品 20%、展示・発表 20%で評価する。 2) 作品を提出しない場合はE評価となる。
指導方法	<ul style="list-style-type: none"> ・中間発表（第4回）にて、デザインの講評を行う。 ・中間発表（第9回）にて、トワールメイキングの講評を行う。 ・コース内プレゼン（第14回）および合同講評会（第15回）にて、実物作品の講評を行う。
使用テキスト	・オリジナルテキストを配布する。
参考テキスト・URL	
各自準備物	・準備物がある場合は、事前に授業内で告知する。
実習費	・作品制作に必要な材料費や、リサーチに必要な交通費は自己負担とする。
その他	・ファッションデザインコースの学生は履修すること。

科目名称	ファッションデザイン演習Ⅲ			授業コード	10045142
担当教員	笹崎 綾野	金沢 香恵、権 裕美			
単位数	6	授業形態	演習	科目分類	選択必修
年次	3	開講年度	2023	開講学期	前期
関連資格	教職				

授業実施方法	対面授業
使用するアプリ等	
履修制限等	F生限定
授業の目的と到達目標 (学習成果)	・オリジナルデザイン(作品)を提案するため、世相の動向を読み取り、提案内容と共に作品実制作ができる。 ・実社会に向けたプレゼンテーションを用意し、自身の成果物の解説、プレゼンテーションができる。
授業計画の概要	アパレル産業において、市場の動向を把握・分析し、消費者に求められる商品を提案することは必要不可欠である。本演習では、「アパレル商品企画・提案」をテーマとし、リサーチ・デザイン・設計・縫製の工程で既製服製作を行う。さらに、実社会に向けた展示会を想定したプレゼンテーションに重点を置く。
授業計画	1: オリエンテーション、市場調査 2: リサーチ1(資料収集) 3: リサーチ2(資料分析) 4: リサーチ3(資料編集) 5: 合同中間発表(デザイン・テキスタイル) 6: パターンメイキング 7: トワールメイキング1(トワール組み) 8: トワールメイキング2(トワール修正) 9: 合同中間発表(トワール) 10: ソーイング1(裁断) 11: ソーイング2(上身頃) 12: ソーイング3(下身頃) 13: ソーイング4(装飾・細部縫製) 14: コース内プレゼンテーション 15: 合同講評会 展示・プレゼンテーション
実務経験のある教員	
授業時間外学習	1) ファッションを通して世の中の流れを理解するため、市場調査を行うこと。 2) 各々の制作プランに沿って、自主制作を行うこと。
評価方法	1) 授業のコメントシートを含む取組み態度 10%、構想 40%、作品(設計含む) 30%、プレゼンテーション(発表・展示) 20%で評価する。 2) 作品を提出しない場合はE評価となる。
指導方法	・合同中間発表(第5回)にて、デザインの講評を行う。 ・コース内中間発表(第9回)にて、トワールメイキングの講評を行う。 ・コース内プレゼン(第14回)および合同講評会(第15回)にて、実物作品の講評を行う。
使用テキスト	・オリジナルテキストを配布する。
参考テキスト・URL	
各自準備物	・準備物がある場合は、事前に授業内で告知する。
実習費	・作品制作に必要な材料費、リサーチに必要な交通費は自己負担とする。
その他	・ファッションデザインコースの学生は履修すること。

科目名称	ファッションデザイン演習Ⅳ		授業コード	20046070	
担当教員	笹崎 綾野	金沢 香恵、権 裕美			
単位数	6	授業形態		科目分類	
年次	3	開講年度	2023	開講学期	後期
関連資格					

授業実施方法	対面授業
使用するアプリ等	KDU ポータル、teams
履修制限等	
授業の目的と到達目標（学習成果）	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究へ繋げるためのスキルアップを目的とし、自分のデザイン手法を確立できる。 デザインプロセスの整理力を身に付けるため、ポートフォリオを作成し、そこに個性を反映できる。 プレゼンテーション力を養うため、テーマや目的、テーマから作品へ至る経緯をまとめ、作品の自己分析ができる。
授業計画の概要	ファッションデザインでは、アパレルデザインや機能デザイン、コスチュームデザインやカルチャーデザインなど目的や用途に応じて様々なデザインアプローチが可能である。本演習では、「テーマ設定」「イメージ・方法」「デザイン・提案」「設計」「制作」の工程で衣装制作を行い、各々に合ったデザイン手法を見極める。さらに、卒業研究への準備として、ポートフォリオ作成や作品発表に重点を置く。
授業計画	1: オリエンテーション、テーマリサーチ 1 (資料収集) 2: テーマリサーチ 2 (資料分析) 3: デザインワーク 1 (ラフスケッチ) 4: デザインワーク 2 (デザイン画、ハンガーイラスト) 5: トワールメイキング 1 (パターン) 6: トワールメイキング 2 (トワール構成) 7: トワールメイキング 3 (フィッティング、補正) 8: 合同中間発表 (テーマ、デザイン、トワール) 9: ソーイング 1 (裁断) 10: ソーイング 2 (上身頃) 11: ソーイング 3 (下身頃) 12: ソーイング 4 (装飾、細部縫製) 13: ポートフォリオ作成 14: プレゼンテーション準備 15: 展示/合同講評会
実務経験のある教員	
授業時間外学習	1) 授業が始まるまでに、テーマ設定の構想を練っておくこと。 2) 各々の制作プランに沿って、自主制作を行うこと。
評価方法	1) 構想 10%、設計 10%、作品 50%、ポートフォリオ 10%、展示・発表 20% で評価する。 2) 作品、ポートフォリオを提出しない場合は E 評価となる。
指導方法	<ul style="list-style-type: none"> 合同中間発表 (第 8 回) にて、テーマ、デザイン、トワールの講評を行う。 合同講評会 (第 15 回) にて、実物作品およびポートフォリオの講評を行う。
使用テキスト	<ul style="list-style-type: none"> オリジナルテキストを配布する。
参考テキスト・URL	
各自準備物	<ul style="list-style-type: none"> 準備物がある場合は、事前に授業内で告知する。
実習費	<ul style="list-style-type: none"> 作品制作に必要な材料費、リサーチに必要な交通費は自己負担とする。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ファッションデザインコースの学生は履修すること。

科目名称	ファッション企画演習 I			授業コード	10045291
担当教員	瀬能 徹	石崎 真紀子、見寺 貞子			
単位数	6	授業形態	演習	科目分類	選択必修
年次	2	開講年度	2023	開講学期	前期
関連資格	教職				

授業実施方法	対面
使用するアプリ等	Teams
履修制限等	F生限定
授業の目的と到達目標 (学習成果)	快適な日常生活と社会課題について、ファッションがどのように関わっていくのかをリサーチし、企画の手法に沿って課題に取り組むことができる。受講者自身が自ら考えてデザインワークを推進する中で、デザイン表現技術を高め、デザイン提案ができる。
授業計画の概要	ファッション企画の基礎演習として、社会課題に取り組む。日常生活の中で、少子高齢化や災害・安全管理に向けた課題について問題提起し、独自の視点を持って課題解決の企画・提案を行う。
授業計画	1：オリエンテーション：ファッション企画とは・企画に必要なマーケティング 2：ブランド戦略とは・「好きなブランド」のマーケティング分析 3：「好きなブランド」の企画書作成と発表（ターゲットイメージ・ポジショニングマップ等） 4：インナーブランディング戦略とは（SDGs 事例を中心に）・関心のある事例の発表 5：関心のある SDGs 事例から企画書を作成・発表 6：社会課題を解決するファッションデザインの考え方と事例研究（災害弱者とデザイン） 7：社会課題発見のための情報収集（自然災害への取り組み）と解決方法の調査 8：社会課題発見のための情報収集（交通事故への取り組み）と解決方法の調査 9：安全安心のためのデザインブランドコンセプト・デザイン画作成・発表 10：サンプル制作①縫製・加工 11：サンプル制作②縫製・加工 12：サンプル制作③仕上げ・撮影・プレゼンテーション骨子のまとめ 13：サンプル制作④企画書の制作 14：プレゼンテーション 15：展示講評会
実務経験のある教員	
授業時間外学習	新聞、関連雑誌、映画、インターネット等から現代の生活者ニーズを捉え、個々のテーマ設定に活用できる資料収集を行うこと。
評価方法	授業のコメントシートを含む取り組み姿勢 20%、課題制作 70%、プレゼンテーション（発表・展示）10%で評価する。
指導方法	課題のモチーフとなる商品（製品）または表現方法について、市場調査・企画提案・伝達手段に沿ったプレゼンテーションを行い、ディスカッションも取り入れプランニングの精度を上げていく。
使用テキスト	オリジナルテキストの配布
参考テキスト・URL	・日経マーケティングジャーナル ・織研新聞
各自準備物	
実習費	各自制作にかかる製作費および情報収集時の交通費は実費とする。
その他	

科目名称	ファッション企画演習Ⅱ		授業コード	20045232	
担当教員	瀬能 徹	岩田 直樹、見寺 貞子			
単位数	6	授業形態		科目分類	
年次	カリキュラムにより異なります。	開講年度	2023	開講学期	後期
関連資格	教職				

授業実施方法	対面
使用するアプリ等	Teams
履修制限等	F生限定
授業の目的と到達目標（学習成果）	ファッション企画の基本要素である「市場調査・商品企画・販売促進計画」のプロセスを理解し、問題提起と提案能力を身につける。市場に必要な「モノ」と「コト」を提案していく方法論を習得する。
授業計画の概要	自身がデザイナー・プランナー・マーチャンダイザーとなり、社会や時代から求められるキーワードを見つけ、季節・行事・習慣等生活様式の視点から商品企画を行う。市場調査を基に生活者が欲しい製品（モノ）開発を行い、それをPRする仕組み（コト）を学ぶ。
授業計画	1：オリエンテーション 2：セルフブランディングとその表現 3：ブランディングの企画立案①課題：着目するブランドの分析 4：プランニングからデザインへ 5：①のボード作品・企画書制作 6：講評会 7：ブランディングの企画立案②課題：ブランドのシーズンMD 8：プランニングからデザインへ 9：②のサンプル商品・企画書制作 10：講評会 11：ブランディングの企画立案③課題：他ブランドとのコラボレーション 12：プランニングからデザインへ 13：③のポスター及び企画書制作 14：①②③のデザインボード制作に対する講評会 15：合同講評会（展示・プレゼンテーション）
実務経験のある教員	
授業時間外学習	新聞、関連雑誌、映画、インターネット等から現代の生活者ニーズを捉え、個々のテーマ設定に活用できる資料収集を行うこと。
評価方法	授業のコメントシートを含む取組み姿勢 20%、課題制作 70%、プレゼンテーション（発表・展示）10%で評価する。
指導方法	メーカーやブランドのデザイン展開や運営、プロモーションについて、市場調査・企画提案・伝達手段に沿ったプレゼンテーションを行い、ディスカッションも取り入れプランニングの精度を上げていく。
使用テキスト	オリジナルテキストの配布
参考テキスト・URL	・日経マーケティングジャーナル ・織研新聞
各自準備物	
実習費	各自制作にかかる製作費および情報収集時の交通費は実費とする。
その他	

科目名称	ファッション企画演習Ⅲ			授業コード	10045242
担当教員	瀬能 徹	前川 拓史、見寺 貞子			
単位数	6	授業形態	演習	科目分類	選択必修
年次	3	開講年度	2023	開講学期	前期
関連資格	教職				

授業実施方法	対面
使用するアプリ等	Teams
履修制限等	F生限定
授業の目的と到達目標（学習成果）	本演習は、実践的なビジネスモデルを構築するための理論と技術を身につける。独自のアイデアや企画力向上を目指し、提案力と応用力を身につける。
授業計画の概要	変化する社会経済動向、産業技術、地域特性、顧客の生活様式などの産業構造を踏まえて、個々にテーマ設定を行い調査、コンセプト、デザイン、趣旨を伝えるプロモーションまでの一連のプロセスを学ぶ。
授業計画	1：オリエンテーション／ディスカッション 2：リサーチ（資料収集） 3：リサーチ（資料分析） 4：リサーチ（資料編集） 5：合同中間発表（企画） 6：企画の組み立て（ターゲット・ポジション・商品企画・ライフスタイル） 7：サンプル制作 8：サンプル制作 9：合同中間発表（企画書・サンプル制作） 10：作品撮影 11：販路計画の組み立て（プロモーション） 12：編集／ボード制作・冊子制作 13：編集／ボード制作・冊子制作 14：コース内プレゼンテーション 15：合同講評会（展示・プレゼンテーション）
実務経験のある教員	・ブランドやメーカーに対し、マーケティングから企画提案を行ってきた経験を活かし、需要や顧客満足を視野に入れた指導を行う。 ・地域のブランディングに関わるノウハウを基本に、産業に提案できる基本的な知識とプレゼンテーション手法について実践的な実習を行う。
授業時間外学習	新聞、関連雑誌、映画、インターネット等から現代の生活者ニーズを捉え、個々のテーマ設定に活用できる資料収集を行うこと。
評価方法	授業のコメントシートを含む取組み姿勢 10%、課題制作 70%、プレゼンテーション（発表・展示） 20%で評価する。
指導方法	市場調査・商品企画・デザイン・販売計画・運営計画といった、実践的な手法で演習を進める。 地域産業を対象に展示やプレゼンテーションを実施する。
使用テキスト	オリジナルテキストの配布
参考テキスト・URL	https://www.fashion-press.net/ マーケティングの教科書（ハーバード・ビジネス・レビュー編集部）
各自準備物	
実習費	各自制作にかかる製作費および情報収集時の交通費は実費とする。
その他	

科目名称	ファッション企画演習Ⅳ			授業コード	20046080
担当教員	瀬能 徹	見寺 貞子			
単位数	6	授業形態	演習	科目分類	選択必修
年次	3	開講年度	2023	開講学期	後期
関連資格	教職				

授業実施方法	対面
使用するアプリ等	Teams
履修制限等	F 生限定
授業の目的と到達目標（学習成果）	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究へ繋げるためのスキルアップを目的とし、自分のデザイン手法を確立できる。 ・デザインプロセスの整理力を身に付けるため、ポートフォリオを作成し、そこに個性を反映できる。 ・プレゼンテーション力を養うため、テーマや目的、テーマから作品へ至る経緯をまとめ、作品の自己分析ができる。
授業計画の概要	ファッション企画では、マーケティングやブランディング、生産からマネジメント分野に及び工程の中で、時代に応じた提案が可能である。「コンセプトワーク」「企画・デザイン」「アプローチ手法」「プロモーション」などを組立てることで、コンテンツに適した提案を行う。卒業制作へ繋がる研究・制作課題としてプレゼンテーションの手法についても重要視する。
授業計画	1：オリエンテーション 2：課題A：生活傾向課題／トレンド分析 3：ロジック組立・マーケティング戦略 4-5：サンプル制作 6：ボード制作／作品撮影 7：販売計画 8：合同中間発表（企画書・制作サンプル・プレゼンテーションデータ） 9：課題B：自由課題／テーマ・コンセプトワーク 10-11：サンプル制作 12：ボード制作／作品撮影 13：販売計画 14：ポートフォリオのための編集 15：講評会・プレゼンテーション
実務経験のある教員	
授業時間外学習	新聞・関連雑誌・映画・インターネット等から現代の生活者ニーズを捉え、個々のテーマ設定に活用できる資料収集を行うこと。
評価方法	授業のコメントシートを含む取組み姿勢 10%、課題制作 70%、プレゼンテーション（発表・展示） 20%で評価する。
指導方法	自由課題として自分の取組む課題（社会課題や生活課題）を発見する。 自分の課題をテーマとする「問題提起」や「企画提案」を商品企画や運営企画として表現方法やプレゼンテーション手法を組み立てる。
使用テキスト	オリジナルテキストの配布
参考テキスト・URL	https://www.fashion-press.net/ マーケティングの教科書（ハーバード・ビジネス・レビュー編集部）
各自準備物	
実習費	各自制作にかかる製作費及び情報収集時の交通費は実費とする。
その他	